

消 防 団



消防操法大会



全国女性消防団員活性化とちぎ大会

1 消防団の沿革

(1) 坂戸市消防団

昭和22年消防組織法が公布され、各町村に消防団が設置、編成された。

三芳野消防団	5分団	234人	腕用ポンプ6台	初代消防団長	栗原 博孝氏
勝 呂消防団	6分団	284人	腕用ポンプ6台	〃	浅海 清氏
坂 戸消防団	7分団	300人	消防自動車2台、手引ガソリンポンプ1台		

			腕用ポンプ5台	初代消防団長	斉藤 春吉氏
入 西消防団	12分団	345人	腕用ポンプ12台	〃	大野清三郎氏
大 家消防団	5分団	249人	腕用ポンプ5台	〃	高橋 安治氏

昭和29年7月1日坂戸町ほか4ヶ村が合併し、消防団を統合して新たに坂戸消防団を設置編成した。

内田 忠一氏初代消防団長に就任 5分団 28部 定員1,220人

昭和31年 4月14日 中島 義助氏消防団長に就任

12月 1日 定員910人とする。

昭和33年 7月 1日 小川 大三氏消防団長に就任

12月25日 埼玉県消防協会表彰旗を受賞

昭和36年 3月 1日 日本消防協会竿頭綬を受賞

昭和38年 2月11日 日本消防協会表彰旗を受賞

昭和40年 4月 1日 坂西 忠雄氏消防団長に就任 定員700人とする。

昭和41年 3月 3日 消防庁長官表彰竿頭綬を受賞

4月 1日 坂戸町消防団と改称した。

昭和42年 4月 1日 野口 家之助氏消防団長に就任

昭和43年 4月 1日 関口 延清氏消防団長に就任

昭和46年 4月29日 元消防団長坂西忠雄氏消防功労により勲6等瑞宝章を叙賜された。

昭和47年 3月 1日 消防庁長官表彰旗を受賞

昭和49年 4月 1日 消防団の組織を整備強化し、5分団16部

消防自動車16台 定員228人とした。

梶田 喜平氏消防団長に就任

11月 2日 三芳野分団第2部第4回全国消防操法大会へ出場

日本消防協会竿頭綬、埼玉県消防協会竿頭綬を受賞

昭和51年 9月 1日 坂戸市制施行に伴い坂戸市消防団と改称した。

昭和54年 4月 1日 小室 利夫氏消防団長に就任

昭和57年11月19日 建設大臣功績表彰

昭和58年 2月 1日 日本消防協会竿頭綬を受賞

昭和60年 4月 1日 伊利 仁氏消防団長に就任

平成 5年 2月16日 日本消防協会特別表彰「まとい」を受賞

平成 6年 4月 1日 関口 眞夫氏消防団長に就任

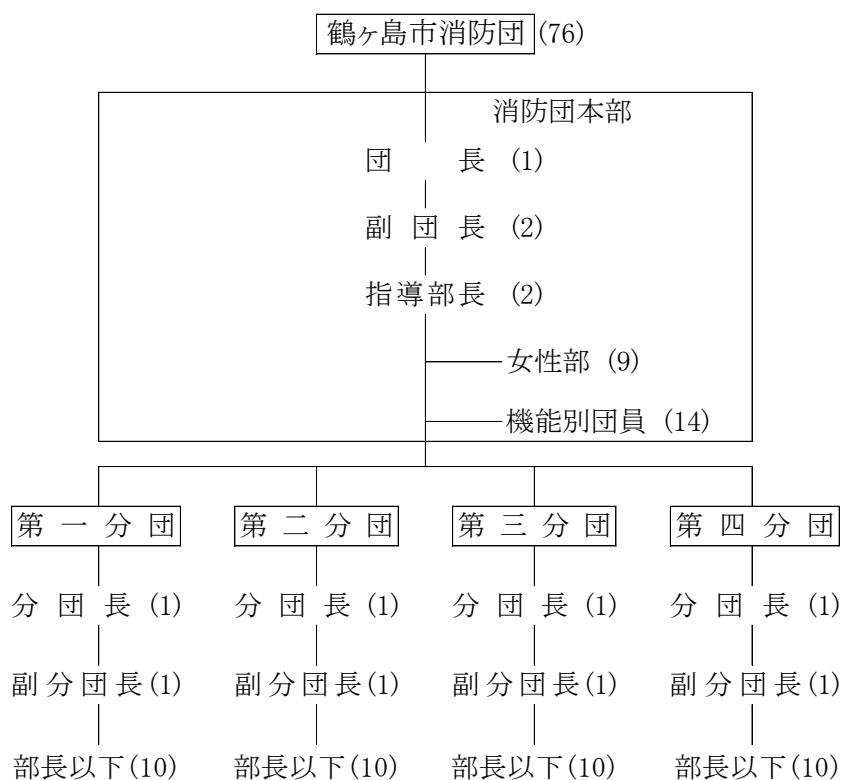
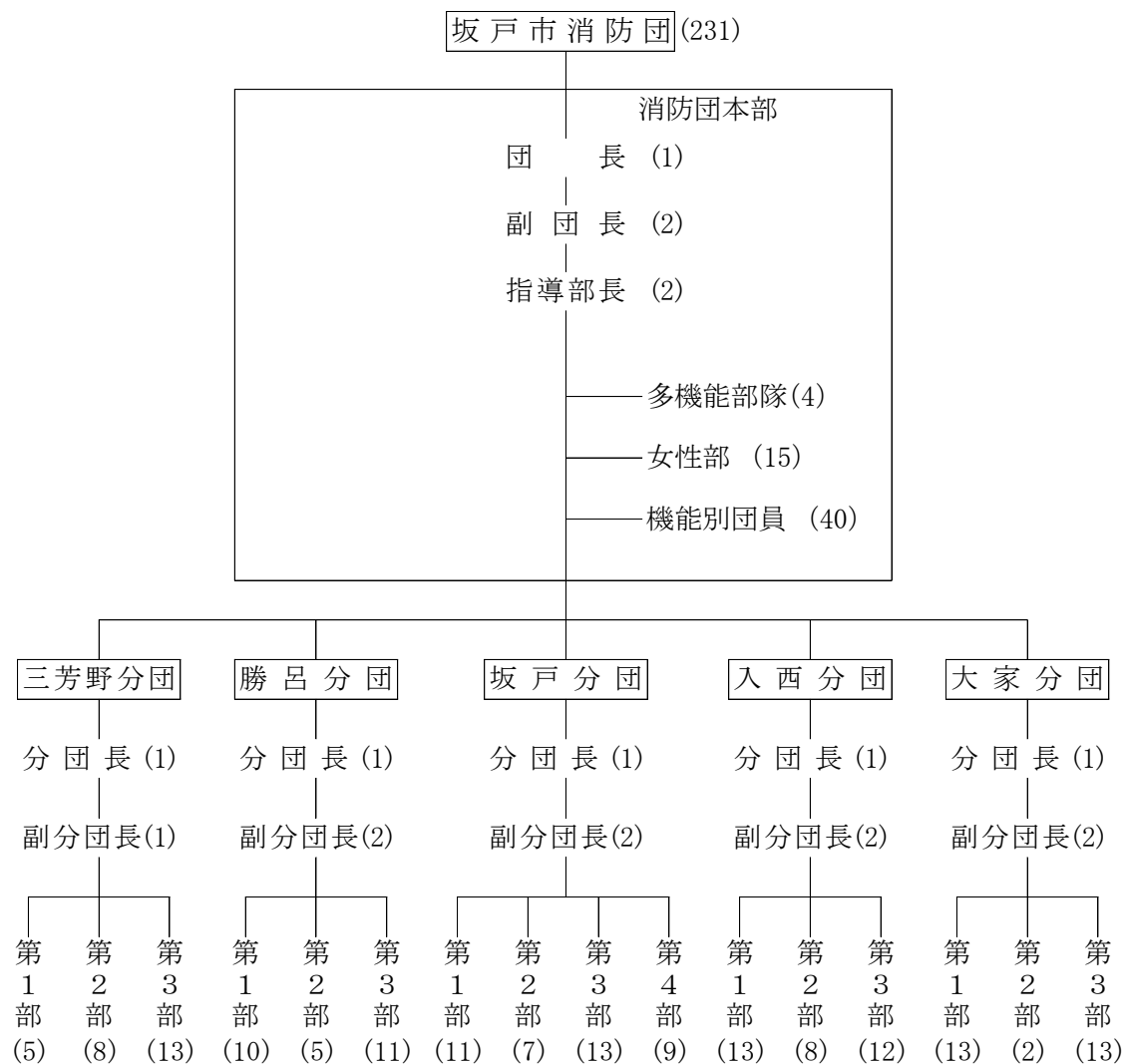
平成 6年10月13日	坂戸分団第1部第14回全国消防操法大会へ出場 日本消防協会竿頭綬、埼玉県消防協会竿頭綬を受賞
平成16年 4月 1日	齋藤 直志氏消防団長に就任
平成17年 4月 1日	坂戸市消防団ラッパ隊を設置
平成18年12月22日	市制施行30周年記念事業として団旗・分団旗を更新
平成19年 4月 1日	定員を243人とし、女性団員15人が入団 女性部を設置
12月 3日	日本消防協会より防災活動車の寄贈を受けた。
平成20年 3月 7日	消防庁長官消防団等地域活動表彰を受賞
12月21日	日本消防協会より消防団多機能型車両の寄贈を受けた。
12月21日	坂戸市消防団多機能部隊を設置
平成21年 4月 1日	栗原 初夫氏消防団長に就任
平成22年11月16日	日本消防協会より防災広報車の寄贈を受けた。
平成25年 4月 1日	小島 清人氏消防団長に就任
平成26年 2月26日	日本消防協会より防災広報車の寄贈を受けた。
11月30日	坂戸市消防団60周年記念式典を実施
平成28年 1月17日	総務省消防庁より救助資機材搭載型消防ポンプ自動車の無償貸付を受けた。
6月 1日	消防救急デジタル無線運用開始
平成29年 4月 1日	大学生による機能別団員（定員40名）を発足 定員283人とする。
10月25日	総務大臣より団員増加に伴う感謝状を受領
平成30年 4月 1日	大澤 勝消防団長に就任
令和元年11月 3日	元消防団長栗原初夫氏消防功労により瑞宝単光章を叙賜された。
令和 2年 3月 4日	消防庁長官表彰 竿頭綬を受賞
令和 6年 4月29日	元消防団長関口眞夫氏消防功労により瑞宝双光章を叙賜された。

(2) 鶴ヶ島市消防団

昭和22年11月 6日	鶴ヶ島消防団を設置編成 11部 定員365人 小川 進一氏初代消防団長に就任
昭和24年12月22日	内野 貞雄氏消防団長に就任
昭和26年10月19日	消防ポンプ自動車を購入、第1機動分団を設置
昭和27年 9月15日	消防ポンプ自動車を購入、第2機動分団を設置
10月15日	小俣 政雄氏消防団長に就任
昭和28年 8月 1日	消防ポンプ自動車を購入、第4機動分団を設置
昭和29年 3月15日	消防ポンプ自動車を購入、第3機動分団を設置
4月 1日	組織を改編、4分団45人とする。
昭和31年 4月16日	松本 勝義氏消防団長に就任
昭和32年 8月 1日	福島 礼二氏消防団長に就任
昭和34年 4月 1日	定員47人とする。
昭和35年 4月 1日	小谷野 栄作氏消防団長に就任 定員51人とする。
昭和38年 5月 1日	内野 徳司氏消防団長に就任
昭和40年 4月 1日	山崎 孝氏消防団長に就任
11月 2日	埼玉県消防協会表彰旗を受賞
昭和42年 4月 1日	高篠 義一氏消防団長に就任
昭和43年 3月15日	定員53人とする。
昭和44年 4月 1日	三上 信嘉氏消防団長に就任
昭和48年 1月 1日	内野 麒一氏消防団長に就任
3月 8日	日本消防協会竿頭綬を受賞
昭和52年 4月 1日	長峰 宏芳氏消防団長に就任
昭和54年 2月10日	日本消防協会表彰旗を受賞
昭和58年 4月 1日	岡野 芳雄氏消防団長に就任
平成 2年 3月 8日	消防庁長官表彰竿頭綬を受賞
9月28日	埼玉県消防協会無火災表彰旗を受賞
平成 3年 4月 1日	高畠 耕作氏消防団長に就任
9月 1日	鶴ヶ島市制施行に伴い鶴ヶ島市消防団と改称した。
平成 7年 4月 1日	小川 伸明氏消防団長に就任
平成10年 4月 1日	田中 孝男氏消防団長に就任
平成25年 4月 1日	篠塚 真一郎氏消防団長に就任
平成26年 3月 5日	消防庁長官表彰旗を受賞
平成27年 4月 1日	定員を60人とし、女性団員が入団(定員7人) 女性部を設置
平成28年 6月 1日	消防救急デジタル無線運用開始
平成29年 3月12日	消防庁消防団等地域活動表彰を受賞
3月19日	鶴ヶ島防災活動車を購入
4月 1日	瀧嶋 正紀氏消防団長に就任

平成31年 4月 1日	OB団員による機能別団員（定員20名）を発足 定員80人とする。
令和 2年 3月 9日	総務大臣より団員増加に伴う感謝状を受領
令和 4年 3月 9日	日本消防協会表彰旗を受賞
4月 1日	定員83人とする。
令和 5年 4月 1日	中嶋 健治消防団長に就任
令和 6年 2月17日	総務省消防庁より救助資機材搭載型消防ポンプ自動車（3.5 t 未満）の無償貸付を受けた。

2 消防団の組織



3 分団・部職名別消防団員数

(1) 坂戸市消防団

分団部名		職名	団 長	副 団 長	指導部長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員	計
団 本 部	多機能部隊		1	2	2						5
	女 性 部							1	2	4	15
	機能別団員									12	40
										40	40
三 芳 野 分 団	本 部					1	1				2
	第 1 部							1	2	2	5
	第 2 部							1	2	5	8
	第 3 部							1	2	10	13
勝 呂 分 団	本 部					1	2				3
	第 1 部							1	2	7	10
	第 2 部							1	2	2	5
	第 3 部							1	2	8	11
坂 戸 分 団	本 部					1	2				3
	第 1 部							1	2	8	11
	第 2 部							1	2	4	7
	第 3 部							1	2	10	13
	第 4 部							1	2	6	9
入 西 分 団	本 部					1	2				3
	第 1 部							1	2	10	13
	第 2 部							1	2	5	8
	第 3 部							1	2	9	12
大 家 分 団	本 部					1	2				3
	第 1 部							1	2	10	13
	第 2 部							1	1		2
	第 3 部							1	2	10	13
合 計			1	2	2	5	9	17	33	162	231

(2) 鶴ヶ島市消防団

分団部名		職名	団 長	副 団 長	指導部長	分 団 長	副分団長	部 長	団 員	計
団 本 部	女 性 部		1	2	2					5
	機能別団員							1	8	9
									14	14
第 一 分 団						1	1	2	8	12
第 二 分 団						1	1	2	8	12
第 三 分 団						1	1	2	8	12
第 四 分 団						1	1	2	8	12
合 計			1	2	2	4	4	9	54	76

4 消防団車両配置状況

(1) 坂戸市消防団

区分 分団部名		車庫詰所 所在地	種別	車種	型式	登録番号	登録年月日	経過 年数
団本部	多機能部隊	鎌倉町16-16	多機能車	いすゞ	BKG-NHS85A	川越 830 ち・119	H20. 12. 10	16
	女性部	鎌倉町16-16	広報車	ダイハツ	GBD-S330V	川越 880 あ・46	H20. 2. 21	16
三芳野分団	第1部	紺屋435-4	ポンプ車	日野	PD-XZU334M	川越 800 さ・194	H19. 2. 14	17
	第2部	横沼346-4	ポンプ車	いすゞ	BKG-NKR85N	川越 800 さ 1102	H23. 1. 31	13
	第3部	小沼838-2	ポンプ車	トヨタ	PD-XZU334	所沢 800 す 4430	H18. 3. 9	18
勝呂分団	第1部	石井1877-4	ポンプ車	いすゞ	SKG-NMR85N	川越 800 さ 1316	H24. 1. 17	12
	第2部	島田1317-1	ポンプ車	いすゞ	TKG-NMS85AN	川越 800 さ 2199	H27. 11. 18	9
	第3部	塚越1255-2	ポンプ車	トヨタ	LDF-KDY231改	川越 830 ひ・3	R 3. 1. 28	3
坂戸分団	第1部	日の出町6-19	ポンプ車	日野	PD-XZU334M	所沢 800 す 3077	H17. 3. 14	19
	第2部	薬師町3646-5	ポンプ車	いすゞ	BDG-NMR85N	川越 800 さ・703	H21. 2. 23	15
	第3部	浅羽野二丁目2-3	ポンプ車	いすゞ	BKG-NMR85N	川越 800 さ・940	H22. 2. 1	14
	第4部	片柳1830-1	ポンプ車	いすゞ	BDG-NMR85N	川越 800 さ・702	H21. 2. 23	15
入西分団	第1部	新堀265-3	ポンプ車	いすゞ	TKG-NMR85N	川越 800 さ 1584	H25. 1. 31	11
	第2部	小山26-1	ポンプ車	トヨタ	LDF-KDY231改	川越 830 に・2	R 1. 11. 20	5
	第3部	戸口471-1	ポンプ車	日野	PD-XZU334M	川越 800 さ・195	H19. 2. 14	17
大家分団	第1部	森戸612-19	ポンプ車	日野	BDG-XZU334M	川越 800 さ・477	H20. 2. 26	16
	第2部	多和目440-1	ポンプ車	日野	KK-XZU331M	所沢 800 す・904	H15. 9. 25	21
	第3部	厚川135-1	ポンプ車	トヨタ	LDF-KDY231改	川越 830 ほ・3	R 4. 2. 2	2

(2) 鶴ヶ島市消防団

区分 分団名		車庫詰所 所在地	種別	車種	型式	登録番号	登録年月日	経過 年数
団本部	女性部	三ツ木378-2	広報車	ニッサン	HBD-DR17V	川越 880 あ・395	H29. 2. 16	7
第一分団		脚折1845-5	水槽付ポンプ車	いすゞ	PKG-FRR90S2	川越 800 さ・941	H22. 2. 1	14
第二分団		新町四丁目21-1	ポンプ車	トヨタ	LDF-KDY231改	川越 830 め・2	R 1. 11. 20	5
第三分団		太田ヶ谷740-1	ポンプ車	トヨタ	3BF-TRY230改	川越 830 さ 2603	R 6. 1. 22	0
第四分団		五味ヶ谷225-16	ポンプ車	トヨタ	LDF-KDY231改	川越 830 す 8948	R 4. 2. 2	2

5 年齢、職名別消防団員数

(1) 坂戸市消防団

年齢区分 \ 職 名	団 長	副 団 長	指導部長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員	計
18 ～ 20 歳								20	20
21 ～ 25 歳								34	34
26 ～ 30 歳								17	17
31 ～ 35 歳							5	26	31
36 ～ 40 歳						5	6	23	34
41 ～ 45 歳			1	4	5	6	13	13	42
46 ～ 50 歳				1	2	4	8	19	34
51 ～ 55 歳		2	1		2	2	1	8	16
56 歳 以 上	1							2	3
合 計	1	2	2	5	9	17	33	162	231
平 均 年 齢	57 . 0	53 . 5	48 . 5	43 . 8	45 . 3	43 . 1	42 . 1	33 . 1	36 . 3

(2) 鶴ヶ島市消防団

年齢区分 \ 職 名	団 長	副 団 長	指導部長	分 団 長	副分団長	部 長	団 員	計
18 ～ 20 歳								
21 ～ 25 歳							4	4
26 ～ 30 歳							8	8
31 ～ 35 歳							12	12
36 ～ 40 歳			1		1	2	7	11
41 ～ 45 歳	1	1	1	2	1	2	6	14
46 ～ 50 歳		1			1	4	7	13
51 ～ 55 歳				2	1	1	8	12
56 歳 以 上							2	2
合 計	1	2	2	4	4	9	54	76
平 均 年 齢	45 . 0	44 . 5	40 . 5	47 . 8	46 . 0	44 . 7	39 . 3	40 . 9

6 勤続年数、職名別消防団員数

(1) 坂戸市消防団

職 名 勤続年数	団 長	副 団 長	指導部長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員	計
5 年 未 満								82	82
5年以上10年未満						1	4	44	49
10年以上15年未満					2	10	21	14	47
15年以上20年未満				2	6	5	6	12	31
20年以上25年未満			1	3	1	1	1	6	13
25 年 以 上	1	2	1				1	4	9
合 計	1	2	2	5	9	17	33	162	231
平均勤続年数	33 . 0	29 . 0	25 . 0	19 . 6	15 . 9	13 . 9	12 . 8	6 . 3	8 . 9

(2) 鶴ヶ島市消防団

職 名 勤続年数	団長	副団長	指導部長	分団長	副分団長	部長	団員	計
5 年 未 満						1	21	22
5年以上10年未満							24	24
10年以上15年未満				1	2	4	5	12
15年以上20年未満	1	1	2	1			3	8
20年以上25年未満				1	2	4		7
25 年 以 上		1		1			1	3
合 計	1	2	2	4	4	9	54	76
平均勤続年数	19 . 0	22 . 5	17 . 0	19 . 8	17 . 5	14 . 9	6 . 1	9 . 4

7 分団・部別担当区域

(1) 坂戸市消防団

摘 要 分団部名		担 当 区 域
団 本 部		坂戸市全域
三 芳 野 分 団	本 部	(三芳野地区)
	第1部	紺屋、中小坂、東坂戸一・二丁目
	第2部	横沼
	第3部	小沼、青木
勝 呂 分 団	本 部	(勝呂地区)
	第1部	石井
	第2部	島田、赤尾
	第3部	塚越、戸宮、栄、千代田五丁目
坂 戸 分 団	本 部	(坂戸地区)
	第1部	日の出町、本町、千代田一～四丁目、八幡一・二丁目、南町、緑町 関間一～四丁目、山田町
	第2部	元町、仲町、泉町、泉町二・三丁目、栗生田、伊豆の山町、溝端町、薬師町 清水町
	第3部	浅羽、浅羽野一～三丁目、花影町、三光町、中富町
	第4部	片柳、上吉田、末広町、芦山町、柳町、鎌倉町、坂戸、片柳新田
入 西 分 団	本 部	(入西地区)
	第1部	新堀、中里、塚崎、北大塚、北峰、堀込、につさい花みず木三・四丁目 西インター一・二丁目
	第2部	小山、善能寺、竹之内、長岡、北浅羽、につさい花みず木五～七丁目
	第3部	今西、金田、沢木、東和田、新ヶ谷、戸口、につさい花みず木一・二・八丁目
大 家 分 団	本 部	(大家地区)
	第1部	森戸、四日市場
	第2部	多和目、西坂戸一～五丁目、けやき台
	第3部	萱方、厚川、欠ノ上、成願寺、鶴舞一～四丁目

(2) 鶴ヶ島市消防団

摘 要 分 団 名		担 当 区 域
団 本 部		鶴ヶ島市全域
第一分団		脚折、脚折町一～六丁目、共栄町、高倉、三ツ木、三ツ木新田 三ツ木新町一・二丁目、藤金（共栄地区）、上広谷（共栄地区）
第二分団		羽折町、下新田、中新田、上新田、町屋、新町一～四丁目
第三分団		太田ヶ谷、柳戸町、南町一～三丁目、松ヶ丘一～五丁目 藤金（共栄地区を除く）、鶴ヶ丘
第四分団		上広谷（共栄地区を除く）、五味ヶ谷、富士見、富士見一～六丁目